

工事の げんば 現場より

今はこんな様子だよ。



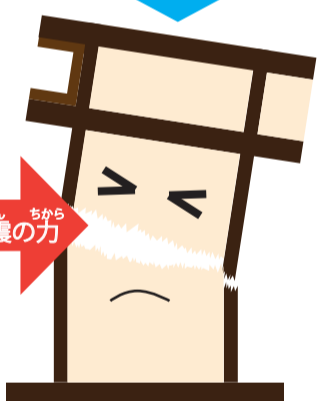
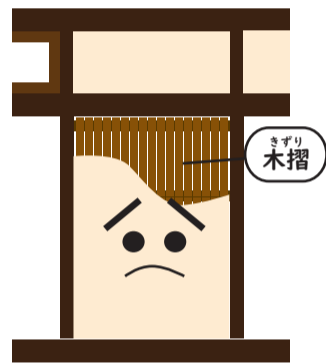
9月2週目

月華殿の素屋根に覆われた内部では、「耐震補強」の工事を行っています。地震に耐えられるように壁の下地を既存の弱い「木摺壁」から頑丈な「構造用合板」に改めました。壁は柱と梁・土台などによって囲まれた長方形が標準ですが、古い建物なので角が90度のきっちりした長方形ではなく、大変複雑な形状です。すべての耐震壁がオーダーメイド、一材ずつ、古い建物の形状に合わせて構造用合板を加工し取り付ける丁寧な作業が求められます。

今回工事における耐震壁設置工事の方策

現在の壁 (木摺壁)

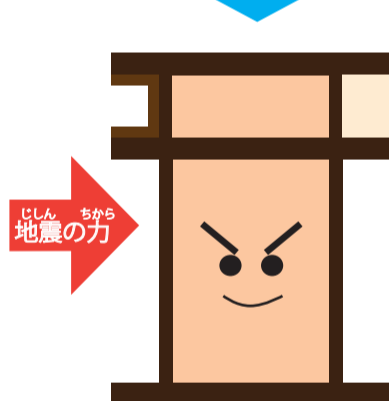
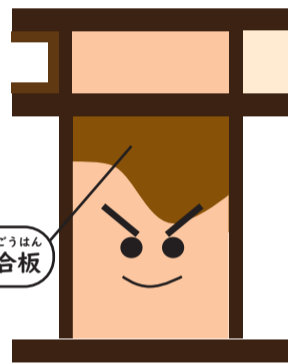
弱い壁



強い力に耐えきれず壊れてしまうかも

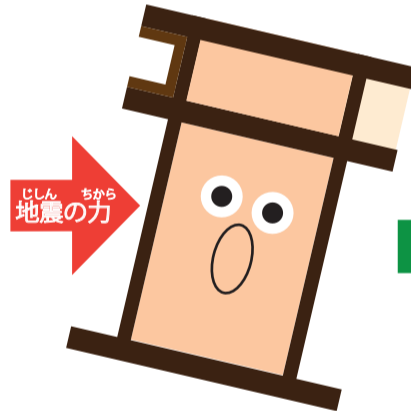
耐震壁 (構造用合板)

強い壁

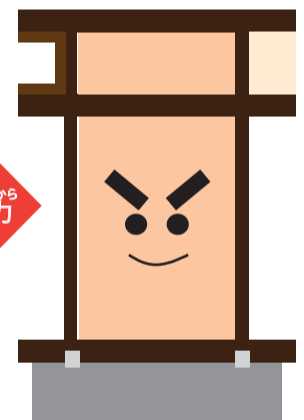


頑丈なので壊れない

※表面の見た目はあまり変わりませんが、ここでは分かりやすくするため色を変えています。



壁は壊れないが、力に負けて壁ごと浮き上がってしまう可能性がある



地下に鉄筋コンクリートの重石を設け、重石と壁をつなぎ、浮き上がりを防ぐ



▲床の間の壁。構造用合板が張られた状態です。



▲複雑な形状の小屋梁に合わせて、構造用合板の下地も形作られています。この上に張り付ける構造用合板も形に合わせて切ります。